



2024年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月19日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 2024年8月7日

配当支払開始予定日

2024年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第2四半期	14,198	26.1	1,521	89.0	1,538	81.8	982	76.4
2023年12月期第2四半期	11,262	12.1	805	28.5	846	26.6	556	24.7

(注) 包括利益 2024年12月期第2四半期 1,088百万円 (59.6%) 2023年12月期第2四半期 682百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第2四半期	101.92	
2023年12月期第2四半期	57.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第2四半期	22,958	13,267	57.8
2023年12月期	21,351	12,371	57.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第2四半期 13,267百万円 2023年12月期 12,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 0.00	円 銭 20.00	円 銭 0.00	円 銭 20.00	円 銭 40.00
2024年12月期		20.00			
2024年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	7.0	1,930	5.5	1,960	5.4	1,240	3.2	128.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期2Q	9,644,554 株	2023年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2024年12月期2Q	8,717 株	2023年12月期	8,717 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期2Q	9,635,837 株	2023年12月期2Q	9,635,837 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は当第2四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに四半期決算説明補足資料を公開する予定です。

・注記事項(1)には「連結範囲の重要な変更の有無」に関する事項を記載しています。

・連結経営成績(累計)の「親会社株主に帰属する四半期純利益」、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の数値は、それぞれ「親会社株主に帰属する中間純利益」、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」の数値を示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2024年1月～6月)における日本国内の経済環境は、円安や好調なインバウンド需要が企業業績を押し上げ、日経平均株価が1989年以来の最高値を更新するなど、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、資源エネルギー価格の変動と異常気象が農畜産物へ与える影響は深刻であり、賃上げ実現に向けた価格転嫁も業界内随所で行われているため、当社グループが属する食品業界は舵取りが大変難しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「We make people happy.」「アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと「FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)」に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めています。

また、当連結会計年度は、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)の4期目にあたります。その中で当第2四半期連結累計期間では、以下の様に昨年更新した記録をさらに塗り替えております。

- ・当社グループにおける第2四半期連結累計期間の売上高が141億98百万円と過去最高を記録。
- ・第2四半期連結累計期間の国内総小売売上高が293億21百万円と過去最高を記録。
- ・一店舗当たりの小売売上高が28百万円と過去最高を記録。
- ・34ヶ月連続、既存店売上高増を達成。
- ・上半期過去最高の税引前利益15億10百万円を達成。

また、引き続き、先ずお客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理の徹底として工場・店舗における感染防止に取り組むとともに、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)を推進しています。

<ブランドパワー強化>

ブランドパワー強化として、お客様のデマンドに合わせたマーケティング、サーティワンらしいプロモーションを展開しました。具体的には、毎月の「新作フレーバー」として専門店ならではの魅力的なアイスクリームを新発売し、選ぶ楽しさを提供するとともに、商品ラインナップを強化いたしました。

世間で話題となっている「謎解き」をモチーフとした「アイスクリームセット」を販売し、お客様からの支持を得ました。また、昨年お子様から好評だった「サーティワンパスポート」をリニューアルし、さらにお子様喜んでいただいております。ひなまつりでは「すみっこぐらし」、リニューアル後に高い評価を得ているハッピーレンズでは「ドラえもん」とのコラボレーションを実現しました。さらに、幅広い世代に人気の「名探偵コナン」との初のコラボレーションを成功させ、新たなお客様の獲得にも繋がっています。また、トリプルポップを+100円で10個まで増やすことが出来る「よくばりフェス」では、予測をはるかに上回る数のお客様が来店し、多数のご注文をいただきました。

新店舗デザインでは「F1(Flavor 1st)」、「MOMENTS」導入による店舗イメージの刷新を進めるため、店舗の全面改装を78店実施し、新店舗を含めた新デザインの導入店舗数を623店舗(ToGo店舗含む)としました。

<デジタル化>

デジタル化施策としては、予約受付も取り入れたモバイルオーダーを推進したことで、お客様の利便性向上に努めています。また、コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、830万人を超えました。会員の購入額は売上全体の36%を占めており、会員でない方に比べ購入額も30%以上多くなっています。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制しております。当社の組織に関しては、引き続きリモートによる就業やペーパーレス、従業員福利厚生への拡充など働き方改革による最適化を行っています。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。また、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減も図っております。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、立地や利用シーンの多様化に着目した持ち帰り専門店「ToGo店舗」は現在、主要都市を中心に20店舗出店しております。その結果、当第2四半期末国内店舗数1,029店舗と前年同期末に比べ13店舗の純増となっています。また、大学の学生食堂や社員食堂、野球場や行楽地、水族館やサービスエリアへの出店など、消費者の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当第2四半期末の国内ポーションカップその他販売等拠点(通常店舗と異なる販売拠点)数は363ヶ所、さらに台湾・ハワイで、当社が運営する海外店舗数は28店舗となります。これにより国内外合わせて当第2四半期末の当社総販売拠点数は1,420ヶ所と前年同期末と比べ73ヶ所増加となっています。

当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の売上高は、同期間過去最高の小売売上高を記録したことに牽引され、過去最高の141億98百万円(前年同期比126.1%)となりました。小売売上高も長期経営計画の4本の柱を中心に、お客様から高い人気を誇るキャラクターとのコラボレーションの実現やデマンド戦略に沿ったプロモーションの実施により、来店客数が増加したことにより、過去最高を記録しました。

売上原価は69億40百万円(前年同期比126.2%)となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、売上の伸長に比べて売上原価の抑制が図られており、売上総利益は72億58百万円(前年同期比126.0%)となりました。

販売費及び一般管理費については、新作フレーバーの告知強化を行ったことや、積極的なデジタル広告の出稿、売上が増加したことによる物流費等の販売費の増加、販売拠点拡大のための活動費の増加などにより、前年と比べて7億79百万円増加したことで、57億36百万円となりましたが、小売売上高及び当社の卸売上高を伸ばすことが出来たことにより販管費率を減少することが出来、営業利益率を押し上げることが出来ました。

以上の結果、営業利益は15億21百万円(前年同期比189.0%)となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した通期連結業績予想の当第2四半期目標を上回るものです。

また、経常利益は15億38百万円(前年同期比181.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億82百万円(前年同期比176.4%)となりますが、こちらも通期連結業績予想の当第2四半期目標を上回っております。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ16億7百万円増加の229億58百万円となりました。これは主に、神戸三木工場の生産設備増強に向けた建設仮勘定の増加が4億41百万円、売上が好調であるための売掛金の増加が4億1百万円あったことによるものです。

総負債は前連結会計年度末に比べ7億11百万円増加の96億90百万円となりました。これは主に、盛夏期に向けた広告宣伝費の投入等による未払金の増加3億98百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ8億95百万円増加の132億67百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が9億82百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日に公表いたしました「2023年12月期決算短信(連結)」の業績予想より変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,375,448	6,618,978
売掛金	1,700,272	2,102,065
製品	1,375,234	1,554,020
原材料	608,539	613,809
貯蔵品	547,348	543,409
前払費用	312,414	423,632
未収入金	883,220	738,181
その他	186,319	362,322
流動資産合計	11,988,798	12,956,420
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,256,240	4,255,830
減価償却累計額	△2,411,539	△2,487,228
建物(純額)	1,844,701	1,768,602
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△307,288	△315,545
構築物(純額)	137,661	129,405
機械及び装置	4,283,010	4,370,995
減価償却累計額	△3,690,814	△3,765,158
機械及び装置(純額)	592,196	605,836
賃貸店舗用設備	4,391,190	4,266,120
減価償却累計額	△2,477,660	△2,392,011
賃貸店舗用設備(純額)	1,913,530	1,874,108
直営店舗用設備	779,039	1,088,152
減価償却累計額	△165,234	△221,628
直営店舗用設備(純額)	613,805	866,524
車両運搬具	63,713	75,581
減価償却累計額	△45,154	△50,414
車両運搬具(純額)	18,559	25,166
工具、器具及び備品	741,165	743,263
減価償却累計額	△641,147	△647,362
工具、器具及び備品(純額)	100,017	95,900
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	54,896	495,919
有形固定資産合計	5,970,732	6,556,826
無形固定資産		
のれん	205,133	222,571
その他	460,168	476,764
無形固定資産合計	665,302	699,336

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	15,526	15,798
長期前払費用	220,426	187,208
繰延税金資産	194,494	192,044
敷金及び保証金	2,178,330	2,226,188
その他	130,972	137,245
貸倒引当金	△13,438	△12,715
投資その他の資産合計	2,726,312	2,745,769
固定資産合計	9,362,347	10,001,931
資産合計	21,351,145	22,958,352

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	842,363	937,556
1年内返済予定の長期借入金	230,012	230,012
未払金	2,994,177	3,392,608
未払法人税等	368,463	564,748
未払消費税等	47,949	79,712
契約負債	1,867,870	1,897,469
預り金	194,404	299,051
賞与引当金	67,103	65,196
役員賞与引当金	78,800	44,950
その他	130,259	36,276
流動負債合計	6,821,403	7,547,582
固定負債		
長期借入金	514,070	399,064
退職給付に係る負債	72,407	85,356
役員退職慰労引当金	41,900	51,728
資産除去債務	164,865	166,423
長期預り保証金	1,325,962	1,396,579
繰延税金負債	38,708	43,959
固定負債合計	2,157,914	2,143,110
負債合計	8,979,317	9,690,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	11,255,092	12,044,496
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	12,213,938	13,003,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802	4,016
繰延ヘッジ損益	-	2,338
為替換算調整勘定	157,086	257,962
その他の包括利益累計額合計	157,888	264,317
純資産合計	12,371,827	13,267,660
負債純資産合計	21,351,145	22,958,352

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,262,292	14,198,675
売上原価	5,500,704	6,940,449
売上総利益	5,761,588	7,258,226
販売費及び一般管理費	4,956,477	5,736,441
営業利益	805,111	1,521,784
営業外収益		
受取利息	63	76
為替差益	11,240	18,282
受取ロイヤリティー	23,925	13,522
受取報奨金	16,430	4,234
その他	7,567	817
営業外収益合計	59,227	36,933
営業外費用		
支払利息	4,511	4,144
店舗設備除去損	13,468	13,145
その他	100	2,640
営業外費用合計	18,080	19,930
経常利益	846,257	1,538,787
特別利益		
固定資産売却益	-	1,151
特別利益合計	-	1,151
特別損失		
固定資産廃棄損	9,103	29,560
特別損失合計	9,103	29,560
税金等調整前中間純利益	837,154	1,510,378
法人税等	280,357	528,257
中間純利益	556,796	982,120
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	556,796	982,120
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,533	3,213
繰延ヘッジ損益	63,502	2,338
為替換算調整勘定	60,375	100,876
その他の包括利益合計	125,411	106,428
中間包括利益	682,207	1,088,549
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	682,207	1,088,549
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報の注記)

当社グループは、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2024年7月19日開催の取締役会において、次のとおり資金の借入を行うことを決議しました。

- (1) 使用の用途 : 神戸三木工場の拡張と新たな生産ラインの導入
- (2) 借入先 : 複数の取引金融機関
- (3) 借入金額 : 2,000,000千円
- (4) 借入実行日 : 2024年9月1日～2024年10月31日(予定)
- (5) 借入期間 : 10年間
- (6) 借入金利 : 固定金利
- (7) 担保提供 : 無